

インボイスの保存要件が一部緩和！

2023年10月からスタートしたインボイス制度ですが、2024年から多くのルール変更が加えられています。その多くが電子帳簿保存法のルール変更に伴うもので、インボイスの保存要件が大幅に緩和されたという改変になっています。

I ECサイトの領収書等データがダウンロード不要に

変更前	変更後
ECサイトで物品の購入の都度、領収書(インボイス)をダウンロードして保存する必要あり	ECサイトで領収書データをいつでも確認できる場合 ⇒ 領収書データのダウンロード不要に
保存期間 原則：7年 欠損金あり：10年	※ECサイト側での保存期間に注意 ECサイト側での取引履歴の保存期間が7年・10年未満の場合にはダウンロード必須 例) アマゾン 保存期間10年 → ダウンロード不要 楽天市場 保存期間15ヶ月 → ダウンロード必要

II 高速道路(ETC)料金について仕入税額控除する場合

変更前	変更後
クレジットカードの明細の保存 ＋ 任意の一取引の利用証明書の保存	15か月に1回以上(※)利用するETCカード ⇒ 利用証明書のダウンロードが不要に ※ETC利用照会サービスにおいてダウンロードできる期間が15か月のため

III 金融機関の手数料の明細もダウンロード保存不要

変更前	変更後
① オンラインの振込手数料 ⇒都度インボイスの保存が必要	インターネットバンキングで記録を随時確認できれば明細のダウンロード保存は不要 ※インターネットバンキング側での記録保存期間に注意
② 店舗で支払う手数料 ⇒任意の一取引のインボイス保存	「各種手数料のお知らせ」を保存することで都度のインボイス保存は不要

金融機関の手数料は実質インボイス不要に

IV 自動サービス機(ATM等)の住所や所在地の記帳が不要に

変更前	変更後
3万円未満の自動販売機・自動サービス機での取引について、インボイスの交付や保存が免除される特例を受けるためには、帳簿に利用した自動販売機等の住所又は所在地を記載する必要があった	左の特例を受ける場合に帳簿へ 住所又は所在地の記載が不要 となった

V 採用面接者等への交通費は公共交通機関特例の対象に

変更前	変更後
派遣社員・内定者・採用面接者等に対する旅費交通費等については出張旅費特例の対象外のためインボイスが必要だった	3万円未満 の支払であれば公共交通機関特例の対象となり 帳簿のみの保存でインボイス不要に

VI インボイス廃止の意見書が可決されたってニュースを聞いたけど…(おまけ)

昨年12月20日に、埼玉県議会で自民党県議団などがインボイス制度の廃止を求める意見書案を提出し、賛成多数で可決されたことがニュースで話題になりました。このニュースをもってインボイス制度が廃止の方向へ動き出すとは言えませんが、今後もインボイス制度や電子帳簿保存法のルールについて要件が緩和されていく可能性はあります。今後の動向にも注目したいです。